

プリンタ管理ユーティリティ 4.2

プリンタ管理ユーティリティ (PAU) インストールマニュアル バージョン 3.3

保証

シャープ株式会社は、できる限り正確で有用な文書を作成するためにあらゆる努力をしていますが、その内容に関しいかなる保証をするものではありません。本文書に含まれている情報はすべて予告なく変更されることがあります。シャープは本取り扱い説明書のご利用で生じたまたは利用に関係するあらゆる直接損害または間接損害に対して責任を負いません。

© Copyright SHARP Corporation 2006-2007. 無断複写・転載を禁じます。書面による事前の許可なく複製、改変、翻訳をすることは著作権法下での許可事項を除き禁止されています。

商標について

Microsoft Windows、MS-DOS、Windows NT は米国の Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。

その他、本文書の中で記載されている会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。

注意

プリンタ管理ユーティリティをご使用になる前に以下の文書をお読みください。これらはインストールフォルダの中に含まれています。

[はじめにお読みください] - プリンタ管理ユーティリティに関する最新情報について記載しています。

[ユーザーガイド] - プリンタ管理ユーティリティの使用方法について記載しています。

[オンラインヘルプシステム] - インストール後のプリンタ管理ユーティリティの使い方について詳しく記載しています。

第 1 章 はじめに

概要

プリンタ管理ユーティリティは、シャープ製複合機(MFP)のデバイス管理能力を提供いたします。

プリンタ管理ユーティリティはウェブサーバ上で起動するウェブベースのアプリケーションです。ウェブブラウザはエンドユーザ用のインタフェース機構です。前のバージョンのプリンタ管理ユーティリティはウィンドウズ上で動作するアプリケーションでウェブブラウザを必要としません。

プリンタ管理ユーティリティを使用するための必要項目

.NET Framework バージョン 2.0

Windows Installer 3.1

MDAC バージョン 2.81.1117

ブラウザクライアント:

Internet Explorer 6.0 以降で、セキュリティを「中」に設定

Netscape 8.1 以降で、ジャバスクリプト及びクッキーを有効設定

ウェブサーバ要件:

Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 5.0、6.0、または 7.0

Microsoft VBScript 5.0

Windows Advanced Server 2000 Service Pack 4、

Windows 2000 Server (SP 4)、

Windows 2000 Professional (SP4)、

Windows XP Professional (SP2) 、

Windows Server 2003 Service Pack 1、

Windows Server 2003 x64 Editions Service Pack 1、

Windows XP Professional x64 Editions Service Pack 1、

Windows Vista Business、

Windows Vista Business 64 ビット版、

Windows Vista Enterprise、

Windows Vista Enterprise 64 ビット版、

Windows Vista Ultimate、

Windows Vista Ultimate 64 ビット版

ハードウェア:

32 ビット OS について

Pentium III 600MHz

512 MB RAM

64 ビット OS について

Intel 64 ビットXeon、64 ビットPentium、AMD Opteron、AMD Athlon 64、又はこれらの互換プロセッサが搭載されたx64 アーキテクチャに基づくコンピュータ

RAM

Windows 2003 Server x64 Edition: 512 MB RAM 以上を推奨

Windows XP Professional x64 Edition: 512 MB RAM 以上を推奨

空きディスクスペース 450MB

ハードウェア要件は使用用途に依存します。大量の MFP を管理する場合は追加のシステムリソースが必要になる可能性があります。

スクリプト遮断機能を持ったウイルス対策ユーティリティが動作している場合には、スクリプト遮断機能を停止させる必要があります。

2 章 インストール及びアンインストール

プリンタ管理ユーティリティをインストールする前に、以下を実行してください。

ステップ1. マイクロソフトIIS（インターネットインフォメーションサービス）バージョン 5. 0、6. 0、又は 7. 0 をインストールしてください。

マイクロソフトIISはコントロールパネル内のWindowsコンポーネントの追加と削除ウィザードを使用して無償でインストールすることができます。注意: インストールしたIISについては、マイクロソフトのウェブサイトから最新のIISセキュリティアップデートをインストールしてください。IIS6. 0、又は 7. 0がインストールされている場合は、IISマネージャの「Webサービス拡張」フォルダの「Active Server Pages」の状態を「許可」に変更してください。

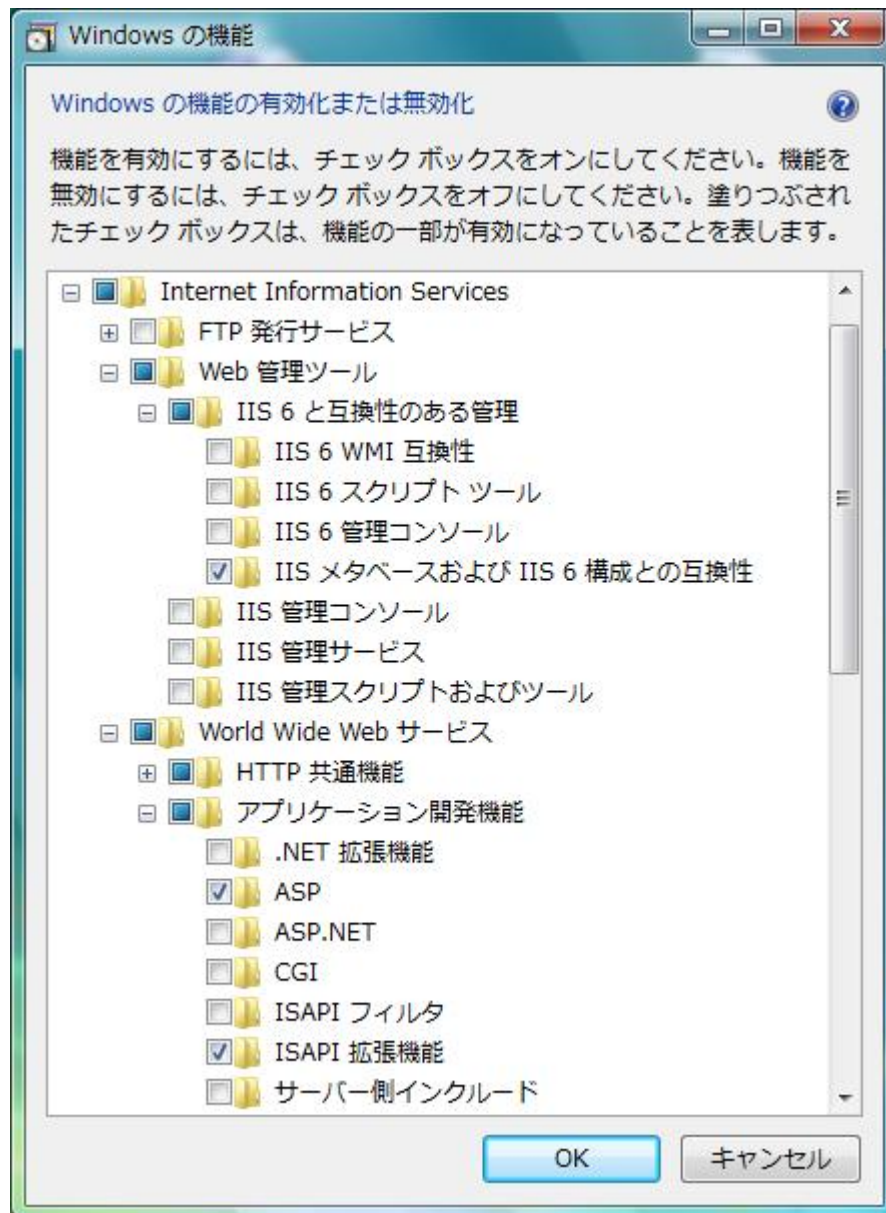
IIS をインストールするには下記の手順に従ってください。

IIS5.0 (Windows 2000), IIS6.0 (Windows XP もしくは Windows 2003)

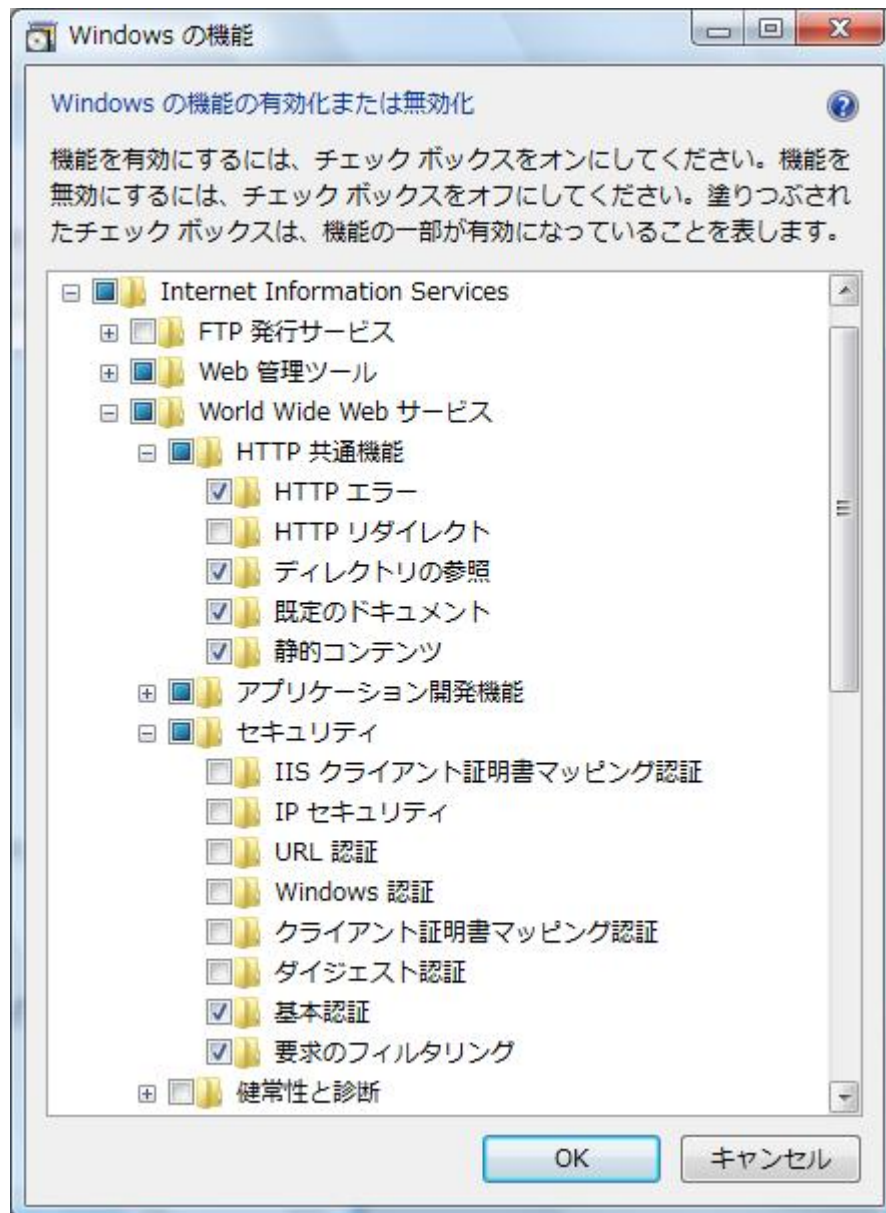
1. スタートボタンからコントロールパネルを開いてください。
2. 「プログラムの追加と削除」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 左側のメニューの中から、「Windows コンポーネントの追加と削除」を選択し、「Windows コンポーネントウィザード」を開きます。
4. Windows2003 の場合には、「アプリケーションサーバー」を、それ以外の OS の場合には、「インターネットインフォメーションサービス(IIS)」を選択します。
5. 「次へ」をクリックすればインストールが実行されます。インストール中、OS の CD を要求されることがあります。その際には OS の CD をドライブに入れてください。

IIS7.0 (Windows Vista)

1. Windows スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをメニューから選択してください。
2. クラシック表示にします。
3. 「プログラムと機能」をダブルクリックしてください。
4. 左メニューから、「Windows の機能の有効化または無効化」を選択してください。「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示された際には、「続行」を選択して進めてください。「Windows の機能」ダイアログが表示されます。



5. 「Internet Information Services」をダブルクリックするか、展開してください。
6. 「Web 管理ツール」をダブルクリックして展開してください。次に、「IIS 6 と互換性のある管理」をダブルクリックし、「IIS メタベースおよび IIS 6 構成との互換性」にチェックを入れてください。
7. 「World Wide Web サービス」をダブルクリックして展開してください。次に、「アプリケーション開発機能」をダブルクリックし、「ASP」にチェックを入れてください。「ASP」にチェックを入れると、「ISAPI 拡張機能」と「セキュリティ」の下の「要求のフィルタリング」に自動でチェックがつきます。



8. 「World Wide Web サービス」の下に「HTTP 共通機能」をダブルクリックし、「既定のドキュメント」、「ディレクトリの参照」、「HTTP エラー」、「静的コンテンツ」にチェックを入れてください。
9. 「World Wide Web サービス」の下に「セキュリティ」をダブルクリックし、「基本認証」にチェックを入れます。
10. OK をクリックします。設定とインストールが開始されます。

IISインストールに関する詳細な情報は、マイクロソフトのウェブサイトにある「IIS6. 0、又は 7. 0 インストール」についての様々なマイクロソフトヘルプページをご覧ください。

ステップ2. ウィルス対策ソフトウェアの設定を変更してください。

もしクライアントマシン上でスクリプトをブロックするようなウィルス対策ソフトウェアが動作している場合には、プリンタ管理ユーティリティは正常に動作しません。

ステップ3. ウィンドウズセキュリティグループを特定または作成してください。

プリンタ管理ユーティリティの保護された機能へのアクセス権を有するユーザのために、ウィンドウズセキュリティグループを作成または特定してください。プリンタ管理ユーティリティには、他のユーザに影響を及ぼす方法で、システム設定を変更できる機能があります。これらの機能は、保護された機能と呼ばれています。インストール時、ウィンドウズセキュリティグループは、プリンタ

管理ユーティリティの保護された機能へのアクセス権を有するように設定されます。選択されたグループのメンバーのユーザだけが、保護された機能を使用することができます。



1. ドメイン

このリストボックスには、現在利用できるドメイン名が表示されます。通常、これはお使いのコンピュータの名前（ローカルドメイン）とメンバーであるドメインの名前です。PAU の保護された機能を使用するグループというのは、ドメイン内のグループのことです。よって、ドメイン名を選択することは最良の方法となります。

2. グループ名

このリストは、現在選択しているドメインにおいて利用可能なグループ名が表示されます。

3. グループのメンバ

グループ名をクリックすると、該当グループに属するユーザの名前が表示されます。これにより、現在選択しているグループに基づいて、PAU の保護された機能を使用できるユーザが分かります。

4. 「グループの追加」ボタン

このボタンをクリックすることにより、現在選択しているグループを PAU の保護された機能を使用できるグループに追加することが出来ます。

5. 「OK」ボタン

このボタンは、少なくとも1つのグループが選択されるまで無効になっています。「OK」ボタンをクリックされると、「グループを選択してください。」ボックス内に登録されたグループに属するユーザは、PAU の保護された機能を使用できるようになります。

Windows ファイアウォール (XP Service Pack 2)

プリンタ管理ユーティリティをスタートメニューから起動すると、Windows ファイアウォールは警告メッセージを表示します。警告メッセージは通常の操作には影響しません。警告が受け入れられると、プリンタ管理ユーティリティはスタートします。デスクトップや Internet Explorer のお気に入り

にショートカットを作成し、プリンタ管理ユーティリティを起動すれば、Windows ファイアウォール警告メッセージは表示されません。

検索や、ステータス更新といった SNMP によるデータの取得は、Windows Vista の OS でファイアウォールが ON になっている場合には動作しません。

ポートとプロトコルの設定を行うには下記の手順に従ってください。

1. MMC(Microsoft Management Console) を起動して下さい。
2. ファイル → スナップインの追加と削除 から、セキュリティが強化された Windows ファイアウォールをクリックして下さい。
3. ローカル コンピュータを選択し、「完了」します。
4. OK をクリックします。
5. セキュリティが強化された Windows ファイアウォールのタブを開き、受信の規則 を選択します。
6. 右クリックで 新規の規則 を選択し、次のダイアログでポートを選択し、さらに次のダイアログで UDP ポートとして 161 と 162 を追加します。以降はデフォルトオプションで進み、最後に名称を決定して終了します。
7. 右クリックで 新規の規則 を選択し、次のダイアログでポートを選択し、さらに次のダイアログで UDP ポートとして 199 を追加します。以降はデフォルトオプションで進み、最後に名称を決定して終了します。
8. 先ほど設定した規則を選択し、右クリックでプロパティを選択します。 プロトコル及びポートタブを選択し、プロトコルの種類のメニューから ICMPv4 を選択し、「適用」をクリックします。

インストール時の注意:

プリンタ管理ユーティリティをインストール後に、コンピュータの再起動が必要な場合があります。これは OS および、どのようなコンポーネントが以前にインストールされていたかによります。通常の再起動が許可されないようなサーバに対しては、プリンタ管理ユーティリティをインストールしないでください。

ソフトウェアの場所

プリンタ管理ユーティリティソフトは、デフォルトでは、インストール中に別のドライブまたはフォルダを指定しない限り、お使いのデフォルトブートドライブ（通常は C ドライブ）にある「C:\Program Files\Sharp\DSMC」という名前のフォルダにインストールされます。インストールされたサーバからプリンタ管理ユーティリティを開始するには、スタート→プログラム→プリンタ管理ユーティリティメニューでインストールされているプリンタ管理ユーティリティのショートカットをご使用ください。プリンタ管理ユーティリティを離れたところからアクセスするには、ウェブブラウザの URL 入力欄に以下のような URL を入力し、プリンタ管理ユーティリティのメインページを開いてください。

例: "http://192.168.1.102/PAU"

PAUは以下のコンポーネントをインストールします。

1. Microsoft SQL Server 2005 Express Edition. このコンポーネントは、「SQL Server (DSMC)」と「SQL Server Active Directory Helper」という名前の2つの NTサービスをインストールします。
2. MSXML バージョン3.0（これは XML ファイルをパースするために使用されます。）
3. ウィンドウズシステムディレクトリに「MSVCRT.dll」及び「MSVCP60.dll」をコピーします。（これらのファイルはシステム内に存在しない場合のみコピーされます。）
4. アクティブデリバリ バージョン3.0 DLL を「<PAU Target Location>\DSMC\Bin」内にコピーします。（自己解凍形式の実行ファイルを作成するツールです。）
5. Dynazip ver 5.00.01 DLL を「<PAU Target Location>\DSMC\Bin」内にコピー

します。(zip ファイルを作成するツールです。)

6. MFP からの SNMP トラップをチェックする SNMPTRAP NT サービスをインストールします。
7. プリンタ管理ユーティリティのバックグラウンドタスクを実行する PAUService NT サービスをインストールします。

プリンタ管理ユーティリティがインストールしてあれば、ネットワーク上の入手可能なプリンタに対して探索を実行できます。プリンタ管理ユーティリティがインストールされているサーバと同じサブネット上にあるプリンタだけが発見されます。

発見されるデバイス数に応じて、この探索作業に必要な時間は異なります。バックグラウンドでこの作業が実行されている間、「最終探索時刻」には「探索中」メッセージが表示されます。全てのデバイスが表示されているわけではないですが、プリンタ管理ユーティリティの機能は使用することができます。探索の設定は探索作業を中止しないで、変更することはできません。

オンラインヘルプ

オンラインヘルプは、プリンタ管理ユーティリティタスクを実行するための、情報及び指示を与えるものです。プリンタ管理ユーティリティを使用中に、メイン画面にある「ヘルプ」リンクをクリックすることで、オンラインヘルプにアクセスすることができます。

FAT及びNTFSファイルシステム

プリンタ管理ユーティリティはいずれかのマイクロソフトファイルシステムに対応しています。最適なシステムパフォーマンスと高いセキュリティを提供するために、シャープは NTFS ファイルシステムをご使用になることをお勧めいたします。FAT システムを使用していると、保護された機能へアクセスする際にウィンドウズログイン ID 及びパスワードを要求されます。一旦ログインすると、保護された機能にアクセスすることができます。NTFS ファイルシステムを使用しているならば、現在のログインセッションがチェックされ、保護された機能にアクセスする際にパスワードを求められことはありません。

プリンタ管理ユーティリティの削除:

プリンタ管理ユーティリティを削除するには、下記の手順に従ってアンインストールを行ってください。

1. ウィンドウズのスタートボタン、設定、コントロールパネルをクリックしてください。
2. アプリケーションの追加と削除アイコンを選択してください。
3. プリンタ管理ユーティリティを選択し、削除してください。

プリンタ管理ユーティリティの削除を完了するには、コンピュータを再起動する必要があります。削除を実行すると設定情報をすべて削除します。設定情報を継承するにはアップグレードを実行してください。

プリンタ管理ユーティリティの更新:

プリンタ管理ユーティリティ(バージョン 4.0 以降)を、現在の設定及びデバイスデータを失うことなくアップグレードするには、通常のインストール処理に従い、アップグレードインストレーションオプションを指定してください。より高いバージョンからダウングレードすることは出来ません。